

乱視対策用レンズ

スマートトリック

SMART TORIC



見え方が変われば、 毎日が楽しくなる。



貴方は日常生活の中で“こんなこと” 気になりませんか？

- ▶ 信号機の光がボヤける
- ▶ スマホの文字が見辛い
- ▶ 長時間装用していると疲れる
- ▶ 視野の周辺が歪む
- ▶ 本の文字が読み辛い
- ▶ 雨の日の運転が怖い
- ▶ PC画面の文字が二重に見える
- ▶ なんとなく違和感がある



※感じ方には個人差があります。
見え方にお悩みの方は医師にご相談ください。

乱視対策用レンズで毎日がウキウキに！ スッキリ！ ラクラク！



レンズ周辺部の 乱視度数を コントロールし 周辺部の 歪みを軽減。

周辺部の歪み
約**24%**
改善^{※1}

〔ビューフォーカスエリア〕クリアな視界のエリア

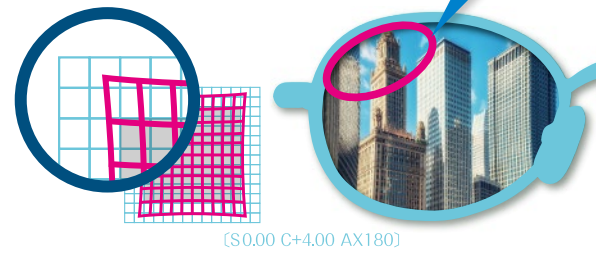


〔コントロールエリア〕乱視度数を調整し、周辺部の歪みを軽減したエリア

※1.屈折率1.60 S0.00 C+4.00 球面レンズとスマートトリックでの比較

球面レンズ

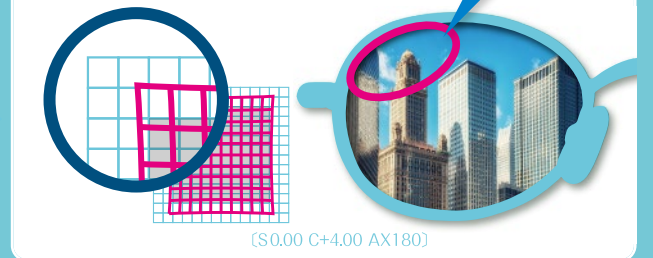
歪みが強い！



〔S0.00 C+4.00 AX180〕

スマートトリックレンズ

歪みを軽減！



〔S0.00 C+4.00 AX180〕



川崎医科大学
総合医療センター
眼科 教授
長谷部 聡 先生

クリアな見え方と装用感のバランスが 乱視レンズ選びの重要なポイントです。

乱視矯正用のメガネでは、クリアな見え味(眼鏡視力)と装用感が、しばしばトレードオフの関係におかれます。乱視矯正用のレンズは、互いに垂直な2方向に異なる屈折力を持つため、方向によって異なる拡大や縮小、つまり「像の歪み」が発生します。さらに乱視の程度や方向は左右の目で異なることが多く、脳は異なる歪みをもった像を一つに見る(両眼視する)必要があります。その結果、不快感や眼精疲労が起きたり、空間が傾いて見えたりする場合があります。十分に視力を出そうとするとメガネの装用感が低下し、装用感の良いメガネを作ろうとすれば眼鏡視力が犠牲になる。個人によって症状の程度は異なりますが、このようなトレードオフの関係を念頭に置き、最適なレンズを選択することが大切です。

※効果には個人差があります。装用後の見え方を保証するものではありません。※画像・イラストはイメージです。